

親も巻き込み、人格形成の根っこを育成

大谷幼稚園



大谷幼稚園では、幼児期の体験を重視して、人格形成の根っこの部分を育成しています。子どもたちの「なぜだろう。」「不思議だな。」と思う気持ちを引き出し、感性を育てるために、保護者の皆様のご協力をいただきながら、体験活動や絵本の読み聞かせ等に取り組んでいます。

米や野菜の栽培や収穫を親子で体験し、食に関する意識を高めていただいたり、家でも読み聞かせを実践していただいたりすることにより、子どもたちの心が育ってきているのを感じています。

読書については、25年間も続いた大谷文庫から家への本の貸し出しと、「親子読書ノート」を用いた読書記録により、保護者の皆様も積極的に読み聞かせに取り組んでいます。入園当初は、本に興味のなかった子どもでも、たくさんの絵本に触れ、シリーズものにまで手を伸ばすようになってきています。



読書ノートのコメントより

悠真が借りてくる本では、めずらしく文が長い絵本でした。でも、お話をきちんと聞いて、物語を理解しようと真剣な表情でした。物語の内容を楽しめるようになり、とても成長したなと感じます。

インパクトだけではなく、何回も何回も読んで、ジワリジワリと好きになる絵本を沢山見つけてくれればうれしいなと思います。(3歳児保護者：盛川 朋江)



パパ大工さん、大大だ〜い活躍！

湯口保育園



湯口保育園では、保護者会長さんの働きかけにより、有志のお父さん方が集まり、壊れかけていた園庭の藤棚の修理や子どもたちの使用するテーブルや棚の作製を行いました。当初は、藤棚の修理が目的でしたが、子どもたちがままごと遊びで使うテーブルや砂場の遊び道具を片付ける棚まで、立派に完成しました。

作業には、希望する子どもたちも参加し、大工道具の使い方を教えていただきながら、楽しく作業に協力しました。日頃使い慣れない道具でしたが、お父さん方が丁寧に教えて下さるので、上手に作業することができました。

お父さん方の力作に囲まれて、子どもたちは、今日も元気に遊んでいます。



今回の奉仕活動は、湯口保育園では初の試みだったので、手探り状態でのスタートでしたが、園の職員や保護者の皆様のご協力のおかげで、よい活動ができたと思っています。

のこぎりを使って、椅子の製作にチャレンジした子どもたちにとっては、よい経験になったと思います。

(保護者会長：佐々木 忠嗣)